



■使用評価マニュアル: CASBEE柏2014年版

|使用評価ソフト: CASBEE柏2014(v.3.01)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	柏市北部中央地区新設中学校	階数	地上4F
建設地	柏市柏北部中央地区一体型特定土	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	700 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,480 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年4月28日
敷地面積	27,000 m ²	作成者	(株)千都建築設計事務所
建築面積	5,332 m ²	確認日	2016年6月6日
延床面積	9,205 m ²	確認者	(株)千都建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 84%

③上記+②以外の 71%

④上記+ 71%

46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能 5

Q1 室内環境 4

Q3 室外環境(敷地内) 3

LR1 エネルギー 2

LR2 資源・マテリアル 1

LR3 敷地外環境 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他
社会に出る力を育てる学校を目指し、学校図書館・ICT環境の充実を図る計画とし、外部人材の活用や共同学習等、多人数学習が可能となる教室を計画する。 開放棟(アリーナ、武道場等)や木漏れ日スクエア等、地域住民に開かれたコミュニティ空間を計画し、地域との共生を図る。	0
Q1 室内環境 建築基準法規制対象外となる建材を使用し、室内の空気室を健全に保つ。 断熱仕様を強化し、負荷の抑制を図る。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境並びに柏のは小学校と調和の図れる植栽計画とする。 地域に開けた屋外空間を提供する。
LR1 エネルギー 外皮の断熱仕様の強化 効率の優れた設備機器を使用	LR3 敷地外環境 運用時のCO ₂ 排出量を抑制し、地球温暖化防止に配慮する。
Q2 サービス性能 保守管理や更新性に配慮した設計とする。	
LR2 資源・マテリアル 節水型器具を使用、また雨水利用が可能な設備を導入することで、水資源の保護を図る。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

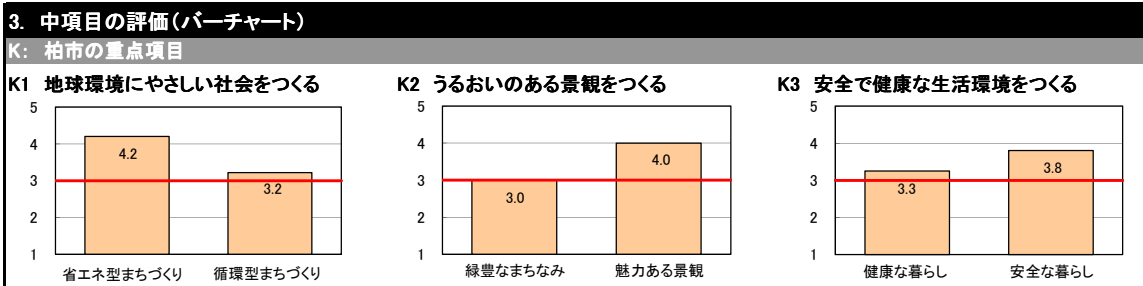


評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 柏2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE 柏2014(v.3.01)

1 建物概要			
建物名称	柏市北部中央地区新設中学校	建築物の環境効率 (BEEランク)	A ★★★★★☆

2 重点項目への取り組み度			
重点項目	取り組み度※ (得点/満点)	評価結果	
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.7 / 5.0		
K2 うるおいのある景観をつくる	3.5 / 5.0		
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.5 / 5.0		
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <p>断熱強化による負荷の抑制 高効率機器の採用 熱交換器による換気排熱利用</p> <p>衛生器具は節型器具を使用する。 屋根の雨水を貯湯し、簡易処理した後に、散水等に使用する。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <p>1.1 建物の熱負荷抑制 (LR1-1) スコア 5.0</p> <p>1.2 自然エネルギーの利用 (LR1-2) スコア 3.0</p> <p>1.3 設備システムの高効率化 (LR1-3) スコア 5.0</p> <p>1.4 効率的な運用 (LR1-4) スコア 3.0</p> <p>2. 循環型まちづくり</p> <p>2.1 雨水利用・雑排水再利用 (LR2-1.1) スコア 3.7</p> <p>2.2 雨水排水負荷抑制 (LR3-2.3.1) スコア 3.0</p> <p>2.3 非再生性資源の使用量削減 (LR2-2) スコア 3.2</p> <p>2.4 廃棄物処理負荷抑制 (LR3-2.3.4) スコア 3.0</p>
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <p>周辺環境並びに柏のは小学校と調和の図れる植栽計画とする。 食餌木の植栽やイヌザクラの保存等、自然との共存を図る。</p> <p>敷地周囲に植栽帯を設け、緑あふれる空間を演出する。緑化の植栽により、舗装面積を抑制することで暑熱環境緩和を図る。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <p>1.1 生物資源の保全と創出 (Q3-1) スコア 3.0</p> <p>2. 魅力ある景観</p> <p>2.1 まちなみ・景観への配慮 (Q3-2) スコア 3.0</p> <p>2.2 水空間の創出 設置の有無 -</p> <p>2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 O</p>
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <p>建築基準法規制対象外となる建材を使用し、汚染物質を最小化することで室内の空気室を健全に保つ。</p> <p>災害時にも対応できる施設とし、優れた耐震性を確保する。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 健康な暮らし</p> <p>1.1 空気質環境 (Q1-4) スコア 3.5</p> <p>1.2 バリアフリー計画 (Q2-1.1.3) スコア 3.0</p> <p>2. 安全な暮らし</p> <p>2.1 耐震・免震 (Q2-2.1) スコア 3.8</p> <p>2.2 防犯対策 防犯性の配慮 -</p>